

女性のリアルな声を施策に反映させる、新たな市民社会のあり方への挑戦

地域の課題 令和6年の社会動態が60年ぶりにプラスに転換、7年も引き続き転換水準を維持した一方、依然として若年層を中心とした女性の市外転出は改善が必要な状況である。
(令和6年：女性▲894人／男性▲416人、令和7年：女性▲641人、男性▲643人)
主な転出理由は「就職」であり、女性が自分らしく働くことができる職場環境の構築に向け、社会風土の変革を進める必要がある。

数値目標・KPI

「北九州市基本計画」に定めた主要成果指標：「25～44歳の女性就業率」
【基準】79.8% (R4実績) ⇒ 82% (R10目標)



主な取組内容

○企業における女性の健康課題への対応

『働く女性のヘルスケア実態調査・広報啓発』

小規模事業経営者や女性従業員を対象に、女性の健康課題調査を行い、調査結果をもとに広報・啓発を実施。

○仕事と育児、介護、家事等との両立支援

『パパ育休第一号サポート奨励金』

中小企業の初めての男性育休取得に対し、サポートした同僚への手当等を目的とした奨励金を交付。

○職場等におけるアンコンシャス・バイアス解消

『Woman'sリアルVOICEプロジェクト』

女性にコンフォートなまちを実現するため、従来の取組みでは拾いきれなかった女性のリアルな声を聴き、施策に反映させるプロジェクト。

具体的には、ラジオ番組やカフェでの対話の場を設け、市職員が直接女性にヒアリングを行ったり、アンケートの自由記述の声を集めるなどの取組みを実施。

(ラジオ:15回36名、カフェ:20回156名、アンケ:1,760件)

※1/15時点実績

これらの取組みの集大成として、2月23日に「GUCHI I (だけで終わらせない)フェス」を開催予定。プロジェクトで得られた、女性が日常感じている違和感やモヤモヤの声を単なる愚痴・不満で片づけず、社会を見直すための重要なサインとして、官民全体で共有・共感し、社会構造変革に向けた行動につなげる。

スケジュール・予算

○令和7年度予算

⇒女性にコンフォートなまちづくり推進事業 (15,000千円)

○令和8年度予算

⇒予算編成作業中